

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

企業をつくるのは人。経営を支えるのは和。技術を高めるのは心。人・社会・自然との調和を科学する先進的な技術者集団へ。

連結売上高
88億円

連結営業利益
11.5億円

連結経常利益
11.4億円

親会社株主に帰属する
7.4億円

② 中長期の経営戦略

1. 受注量の確保

技術部門と営業部門の連携で技術提案営業を推進。量と質の両面で中期目標に必要な受注量を安定確保。

3. 技術力向上と品質管理

社会ニーズ対応で新技術領域に挑戦。ICT活用で人的ミス防止、ISO 9001運用で品質管理を徹底。

2. 収益力の向上

部門間業務量の平準化、生成AI等ツール活用で生産性向上。生産原価低減と販管費の無駄排除で収益性向上。

4. 体制強化と人材育成

経験豊富な技術者と若手技術者を積極採用。受注・生産キャパシティ強化と次世代人材開発を推進。

③ 対処すべき課題

① 官公庁顧客との信頼構築

- 顧客満足度向上と業務実績の積み上げが不可欠
- 技術力と品質の向上で安定受注を確保

② 防災・防衛需要の取り込み

- 防災・減災、国土強靱化関連の需要が持続
- 防衛省基地整備関連で高い水準の需要を維持

③ 生産性と採用の強化

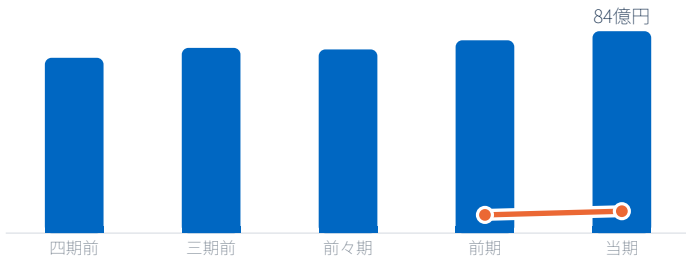
- 生成AI等ツール活用による業務効率化
- 経験豊富な技術者と若手の積極採用で人材確保

面接で使えるポイント

- 建設コンサルタント業界で防災・減災から防衛施設整備まで多様な需要がある中、2028年11月期売上88億円を目指す
- 技術部門と営業部門の連携による技術提案営業で、官公庁顧客の顧客満足度向上を実現
- 生成AI活用による生産性向上と若手技術者の積極採用で、次世代の先進的技術者集団を構築

証券コード 9647

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
84億円営業利益率
10.9%財務健康度
63点／100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 46.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
654万円

サービス業内 180位/524社

平均年齢
43.29歳

サービス業内 104位/527社

平均勤続
12.89年

サービス業内 74位/527社

女性管理職
7.4%

サービス業内 310位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 97位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

